

—東日本大震災から13年 何を残し、伝えるのか—

復興の現場から学ぶ未来への展望

～「東日本大震災または原発災害からの復旧・復興活動等支援基金」を活用した助成事業成果発表会～

2012年3月公益財団法人大阪コミュニティ財団に約2億円の寄付で設置されました標記基金は、2013年4月より東日本大震災の被災地復興支援に取り組む団体等に助成を開始、コミュニティの再生や復活を目指す事業を支援してまいりました。

発災から13年、能登半島地震はじめ日本各地で災害が頻発する現在、“あの日”を経験した者は次世代に何を伝え残すべきか、これまでの復興の取組みを振り返りながら考えてまいります。

日時

2024年
9月18日(水)
13:00-18:00

場所 &
参加費

主婦会館プラザエフ 8階 スイセン
(東京都千代田区六番町15)
TEL(03)3265-8111(代)



参加無料 (ただし、交流会はお一人様1,000円)

第1部
基調報告

「復興庁におけるこれまでの取組みと新たな展開」

復興庁 復興知見班 浅山 悠 氏

第2部
成果事例発表

【発表団体：東日本大震災または原発災害からの復旧・復興活動等支援基金助成先団体】

①東北大学福興youth ②一般社団法人トナリノ ③NPO法人遠野まごころネット

第3部
講演

「新しい東北 復興・創生の過去・現在・未来」

東北大学災害科学国際研究所 准教授 柴山 明寛 氏

被災地域のコミュニティ再生や学術分野での研究成果、復興現場の取材してきた記者の目を通して、それぞれの立場から、これまでの復興の取組みを振り返り、今後起こる災害に対する支援のあり方や伝承について議論します。

【登壇者】柴山明寛氏、(株)河北新報社 編集局企画震災班 記者 田柳 暁氏、発表3団体
【コーディネーター】国際文化交流協会 事務局長 有田典代氏 (当財団・選考委員)

第5部 交流会

3階「コスモス」

参加
申込

9月10日(火)までにメールにてお申し込みください。(裏面参照)

定員：80人(申込先着順)

お問い合わせ

公益財団法人 大阪コミュニティ財団

TEL (06) 6944-6260 FAX (06) 6944-6261
E-mail : info@osaka-community.or.jp

1. 「大阪コミュニティ財団」について

日本初のコミュニティ財団として1991年に大阪商工会議所が設立。以来、社会に役立ててもらいたいという市民や企業等からご寄付を預かり、寄付ごとに「基金」を設置、環境、文化・芸術、医療、社会福祉等多様な分野の市民活動に助成金を支給している。現在の設置基金数は281、基金の総額は約46億円にのぼる。

2. 「東日本大震災または原発災害からの復旧・復興活動等支援基金」について

2012年、東京在住のごきょうだいの約2億円の寄付をもとに設置。被災直後より復興過程における支援をしたいとの思いで創られ、継続支援や運営事務費にも対応したのが特徴。被災地におけるコミュニティ再生や地域活性化をめざす創造的な活動を支援するものと、日本各地で行われている復興支援などの活動を支援するもの。これまでに延べ178件総額約1億6千万円を超える助成をしてきた。

3. パネルディスカッション登壇者

(1) 柴山 明寛 さん 東北大学災害科学国際研究所 准教授

東北大学災害科学国際研究所災害アーカイブ研究分野准教授。同大学大学院工学研究科都市・建築学専攻、グリーン未来創造機構准教授、熊本大学客員准教授を兼務。専門は、地震工学、地域防災、災害情報。震災アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝」に従事し、自主防災組織育成、災害の復旧復興支援、南海トラフの防災対策、災害記録・記憶の伝承に繋げる活動を行っている。

(2) 田柳 暁 さん 株式会社河北新報社 編集局編集部企画震災班 記者

・東日本大震災後、復旧、復興報道に携わり、大規模被災した宮城県気仙沼市や岩手県大船渡市、陸前高田市などの現場を数多く取材、宮城県や仙台市などの行政・議会取材の経験も豊富。

(3) 東北大学福興 youth (仙台市青葉区 設立：2013年3月31日)

・隣県に学ぶ学生が福島県の復興に貢献したいと、東北大学の有志で結成。関心がありながら現地まで行く手段のない学生のボランティアツアーを企画し、公営住宅のコミュニティ形成等を行う。風評被害の払拭や情報発信のスタディツアーを実施し、人との繋がりを学ぶ機会を提供している。

(4) 一般社団法人トナリノ (岩手県陸前高田市 設立：2011年3月12日)

・被災地で緊急支援団体「SAVE TAKATA」として設立。2020年に名称変更。地域人材や資源を組合わせて地域住民の困りごと解決をプロジェクト化。ライターを育成して発信する防災伝承や事業の伴奏支援等を行う。

(5) NPO 法人遠野まごころネット (岩手県遠野市 設立：2011年3月28日)

・被災した沿岸部の人々を市営しようと、遠野市民有志により結成。被災者の生活支援、三コミュニティ形成、なりわいづくりを重点に取り組む。障がいのある人が仕事できる農園「まごころの郷」ではハーブやブドウの栽培を始め、ワイナリーとしてワイン醸造にも挑戦している。

(6) コーディネーター 有田 典代 さん 国際文化交流協会 事務局長

新聞社、放送局に勤務し、国際問題、市民活動等を取材。ネットワークと拠点の重要性を感じて、関西の国際交流・国際協力団体の連合体を設立し、国際交流やNPOの拠点施設を開設。大阪コミュニティ財団選考委員として「災害復興支援」を担当する。

参加申込について

- 「東日本大震災助成事業成果発表会参加申込み」と明記のうえ、**団体名、所属・役職名、氏名、連絡先電話番号、Email アドレス、交流会の参加の有無**を記載し、メールでお申し込み下さい。

申込先アドレス : info@osaka-community.or.jp